

林道事業（県事業）審議資料

- 再評価対象箇所一覧表 p 1
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
公共林道事業（道整備交付金） p 2
- 平成25年度 再評価実施箇所（附図）
 - 公共林道事業（揖北線） p 3
 - 公共林道事業（大谷～大栃線） p 4
 - 公共林道事業（中美濃線） p 5
 - 公共林道事業（白尾～鷺見線） p 6
 - 公共林道事業（二間手～水沢上線） p 7
- パワーポイント
 - 林道事業の概要 p 8～p 11
 - 公共林道事業（揖北線） p 12～p 17
 - 公共林道事業（大谷～大栃線） p 18～p 22
 - 公共林道事業（中美濃線） p 23～p 27
 - 公共林道事業（白尾～鷺見線） p 28～p 33
 - 公共林道事業（二間手～水沢上線） p 34～p 39

平成25年度 再評価対象箇所一覽表 9月5日審議箇所

【林政部森林整備課】

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費		実施済み額		進捗率		経過年数 (H25.3現在)	政策との位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地元の意向	環境との調和事項	事業費削減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項
						全体事業量	実施済事業量	事業実施率	(百万円) 用地補償費	(百万円) 工事費等	(百万円) 用地補償費	(百万円) 工事費等	(%) 用地補償費									
1	公共林道事業 (道整備交付金)	掛北	揖斐川町	H2	H34	林道開設 L=17,200m	林道開設 L=4,640m	27.0%	6,080	1,518	25.0%	23	岐阜県森林づくり基本計画	-	地元は早期完成を強く要望している。	木製構造物の採用 リサイクル認定製品の使用	一部幅員を縮小し型枠壁工を採用	1.2 (1.3)	継続			
2	公共林道事業 (道整備交付金)	大谷～大筋	関市 郡上市	S48	H30	林道開設 L=22,160m	林道開設 L=19,519m	88.1%	4,725	4,252	90.0%	40	岐阜県森林づくり基本計画	-	中津川市「森の含坂工場」稼働 郡上市「長良川木材事業協同組合」稼働予定 早期完成を強く望んでいる	木製構造物の採用 リサイクル認定製品の使用	標準設計に代わり、設備擁壁に型枠壁工や補強土壁工を採用	1.5 (1.5)	継続			
3	公共林道事業 (道整備交付金)	中美濃	関市 美濃市 郡上市	H1	H26	林道開設 L=20,019m	林道開設 L=19,395m	96.9%	4,724	4,622	97.8%	25	岐阜県森林づくり基本計画	-	中津川市「森の含坂工場」稼働 郡上市「長良川木材事業協同組合」稼働予定 早期完成を強く望んでいる	木製構造物の採用 リサイクル認定製品の使用	標準設計に代わり、設備擁壁に型枠壁工や補強土壁工を採用	1.4 (1.5)	継続			
4	公共林道事業 (道整備交付金)	白尾～滝見	郡上市	H2	H30	林道開設 L=17,917m	林道開設 L=15,445m	86.2%	3,573	2,896	81.1	23	岐阜県森林づくり基本計画	-	中津川市「森の含坂工場」稼働 郡上市「長良川木材事業協同組合」稼働 早期完成を強く望んでいる	木製構造物の採用 リサイクル認定製品の使用	標準設計に代わり、設備擁壁に型枠壁工や補強土壁工を採用	1.2 (1.3)	継続			
5	公共林道事業 (道整備交付金)	二間手～水沢上	郡上市	H4	H30	林道開設 L=18,300m	林道開設 L=12,824m	70.1%	4,041	3,237	80.1	21	岐阜県森林づくり基本計画	-	中津川市「森の含坂工場」稼働 郡上市「長良川木材事業協同組合」稼働 早期完成を強く望んでいる	木製構造物の採用 リサイクル認定製品の使用	標準設計に代わり、設備擁壁に型枠壁工や補強土壁工を採用	1.4 (1.5)	継続			

費用対効果分析:()は前回再評価時の投資効果率

平成25年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	公共林道事業（道整備交付金事業）
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。 ・森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。
	採択基準	<p>基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p> <p>管理道、施業道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p>
	概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・森林基幹道開設 ・森林管理道開設 ・森林施業道開設
○費用対効果の分析について	効果の項目	<ul style="list-style-type: none"> うち貨幣換算する項目（B） ・水源かん養便益 ・山地保全便益 ・環境保全便益 ・木材生産等便益 ・森林整備経費縮減等便益 ・一般交通便益 ・森林の総合利用便益 ・災害等軽減便益 ・維持管理費縮減便益 ・山村環境整備便益 ・その他の便益
	その他項目	
費用便益B/C	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費＋森林整備費 ・単価の基準：評価を実施する年度 ・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） ・評価対象期間は事業完了後40年間
	費用便益比の基準	費用便益比（B/C） \geq 1.0

平成25年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課〔森林整備課〕

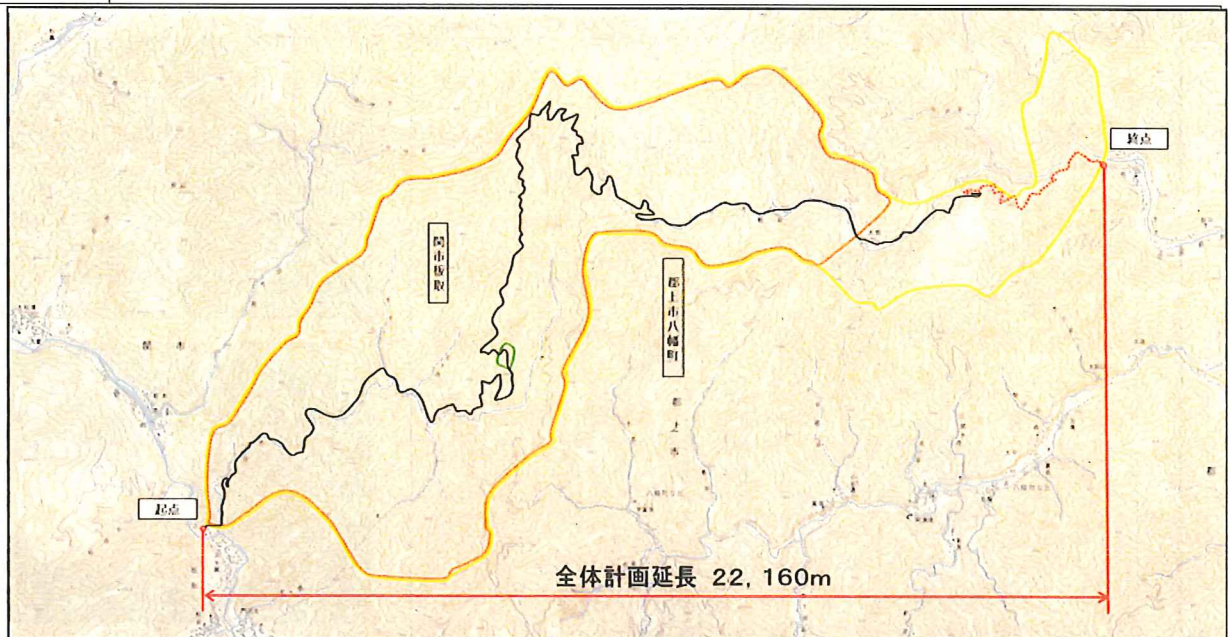
番号	1	事業名 (路線・河川名等)	公共林道事業(道整備交付金) 揖北線
事業実施箇所	起点:揖斐郡揖斐川町東津汲 終点:揖斐郡揖斐川町東横山	事業主体	岐阜県
採択年度	平成2年度	完成予定年度	平成34年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>揖斐川町東津汲地区から揖斐川町東横山地区にかけての揖斐川左岸の森林整備を推進するため、基盤となる基幹林道の整備を行う。</p>		
事業概要	<p>林道開設 幅員 3.0~4.0m 全体計画延長 17,200m 全体事業費 6,080,000千円 利用区域森林面積 1,529ha 同蓄積 305,767m³</p>		
概要図			

平成25年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	2	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業 (道整備交付金) 大谷～大柵線	
事業実施箇所	起点：関市板取 終点：郡上市八幡町	事業主体	岐阜県	
採択年度	昭和48年度	完了予定年度	平成30年度	
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業			
事業目的	関市板取字橋向を起点として郡上市八幡町相生字山ノ神に至り、2市の尾根境に広がる2,470haの広大な森林の骨格となる幹線路網を開設し、効率的な林業経営と適正な森林管理を促進すると共に、タラガ谷越（タラガ峠）を通じた両地区の人、モノの交流文化の歴史を継承する。			
事業概要	全幅員 4.0～5.0m 全体計画延長 22,160m（うち橋梁10基、隧道1箇所） 全体事業費 4,725,044千円 利用区域森林面積 2,470ha 同蓄積 567,567 ^m			

概要図

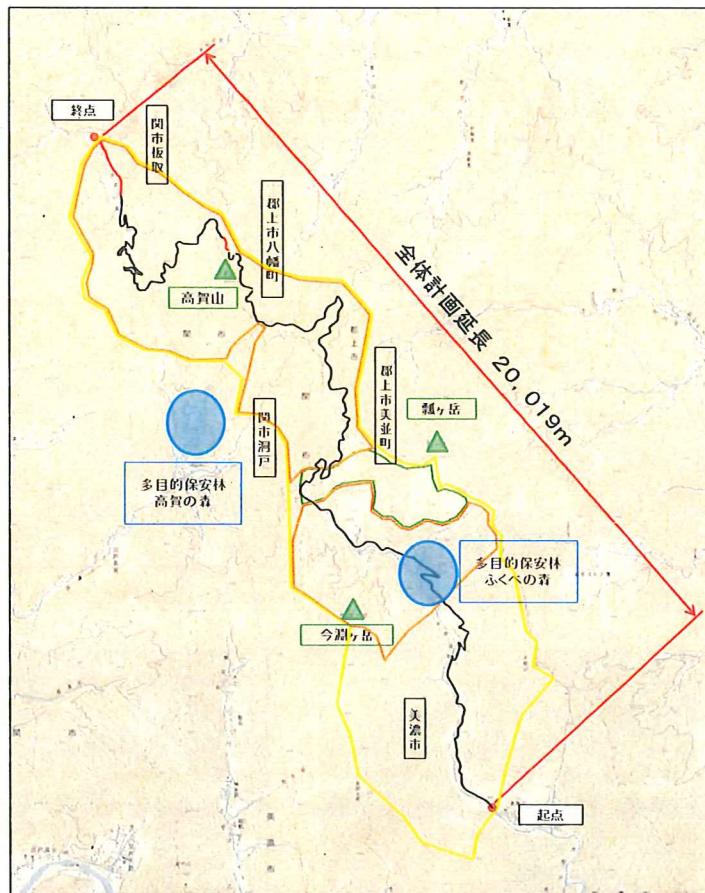


平成25年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課〔森林整備課〕


番号	3	事業名 (路線・河川名等)	公共林道事業 (道整備交付金) 中美濃線
事業実施箇所	起点：美濃市片知 終点：関市板取	事業主体	岐阜県
採択年度	平成元年度	完了予定年度	平成26年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>美濃市片知を起点とし、関市洞戸高賀、郡上市美並町高砂、八幡町那比を經由して関市板取に至り、3市の尾根境に広がる2,148haの広大な森林の骨格となる幹線路網を開設し、効率的な林業経営と適正な森林管理を促進すると共に、沿線の高賀三山や多目的保安林へのアクセス道として、地域の活性化に資する。</p>		
事業概要	<p>全幅員 5.0m 全体計画延長 20,019m 全体事業費 4,723,883千円 利用区域森林面積 2,148ha 同蓄積 427,285^m</p>		

概要図



平成25年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課〔森林整備課〕

番 号	4	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業 (道整備交付金) 白尾～鷺見線	
事業実施箇所	起点：郡上市白鳥町六ノ里 終点：郡上市高鷺町鷺見	事業主体	岐阜県	
採択年度	平成2年度	完了予定年度	平成30年度	
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業			
事業目的	郡上市白鳥町六ノ里を起点とし、同市高鷺町鷺見に至り、1,280haの広大な森林の骨格となる幹線路網を開設し、効率的な林業経営と適正な森林管理に資する。			
事業概要	全幅員 4.0m 全体計画延長 17,917m 全体事業費 3,572,598千円 利用区域森林面積 1,280ha 同蓄積 211,267m ³			
概要図				

平成25年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	5	事 業 名 <small>（路線・河川名等）</small>	公共林道事業（道整備交付金） 二間手～水沢上線		
事業実施箇所	起点：郡上市明宝気良 終点：郡上市明宝奥住	事業主体	岐阜県		
採択年度	平成4年度	完了予定年度	平成30年度		
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	郡上市明宝気良を起点とし、同市明宝奥住に至り、2,270haの広大な森林の骨格となる幹線路網を開設し、効率的な林業経営と適正な森林管理に資する。				
事業概要	全幅員 4.0～5.0m 全体計画延長 18,300m 全体事業費 4,041,408千円 利用区域森林面積 2,270ha 同蓄積 580,495m ³				
概要図	全体計画延長 L=18,300m 				
					

林道事業の概要

林政部 森林整備課

林道事業再評価箇所

対象路線数



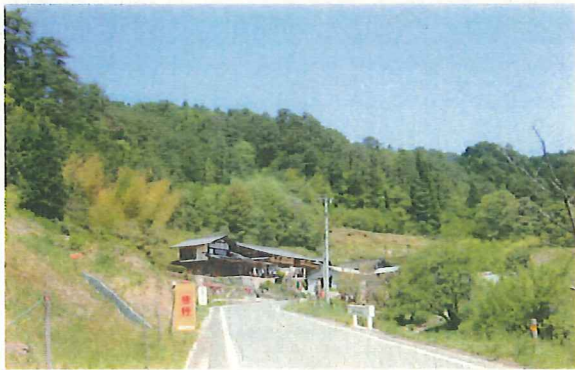
林道事業の目的



①効率的な林業経営(木材搬出)



②適正な森林整備



③県内道路ネットワークの形成



④森林の総合利用

県の政策との位置付け

◇岐阜県長期構想(平成21年度～平成30年度)

○ 人・モノが活発に交流する岐阜県

◇岐阜県森林づくり基本計画

第1期(平成19年度～平成23年度)

第2期(平成24年度～平成28年度)

○ 健全で豊かな森林づくりの推進

○ 林業及び木材産業の振興

事業効果① ～木材生産等の促進～



間伐材の搬出作業

林道沿線における機械を利用した搬出状況

事業効果② ～森林整備経費の縮減等～



林道整備前は徒歩で現場へ

下層植生のある林内

林道沿線の間伐状況

林道整備後は、移動時間が短縮

事業効果③ ～ 森林の総合利用を促進～

- 下流域住民等のボランティアによる植樹や林業体験等に林道が利用される効果。
- 地元住民によるキノコや山菜等林産物採取に利用される効果。



下流域住民(漁連・小学生)による植樹、下刈等の森林整備

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・平成14年：京都議定書の批准



二酸化炭素吸収のための間伐等の森林整備を推進

- ・平成19年：飛騨高山森林組合の製材工場が稼働
- ・平成23年：「森の合板工場」が中津川市で稼働
- ・大型製材工場（郡上市）、木質バイオマス発電（瑞穂市）が進出予定。

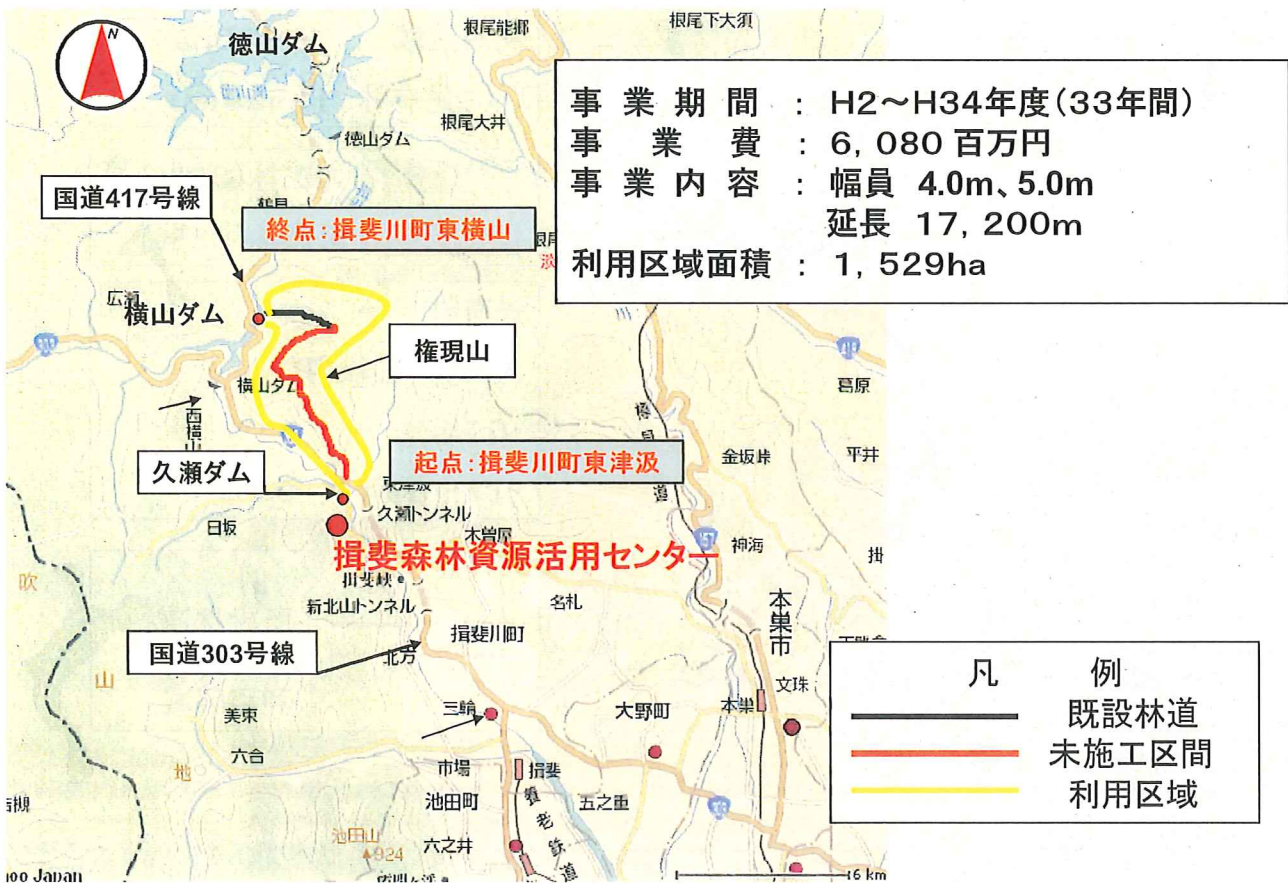


木材需要が拡大

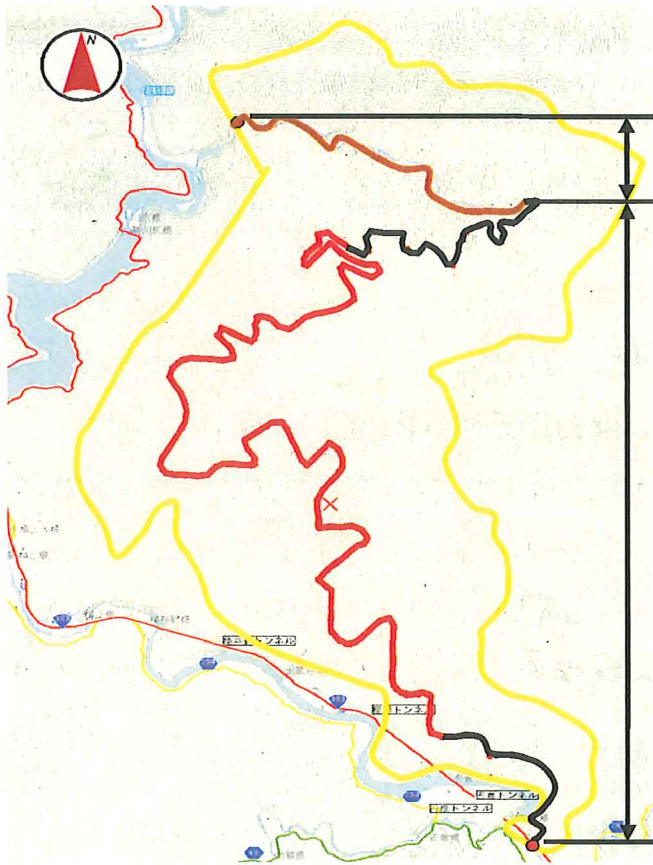
道整備交付金事業

公共林道 揖北線の再評価

計画概要



事業の進捗状況

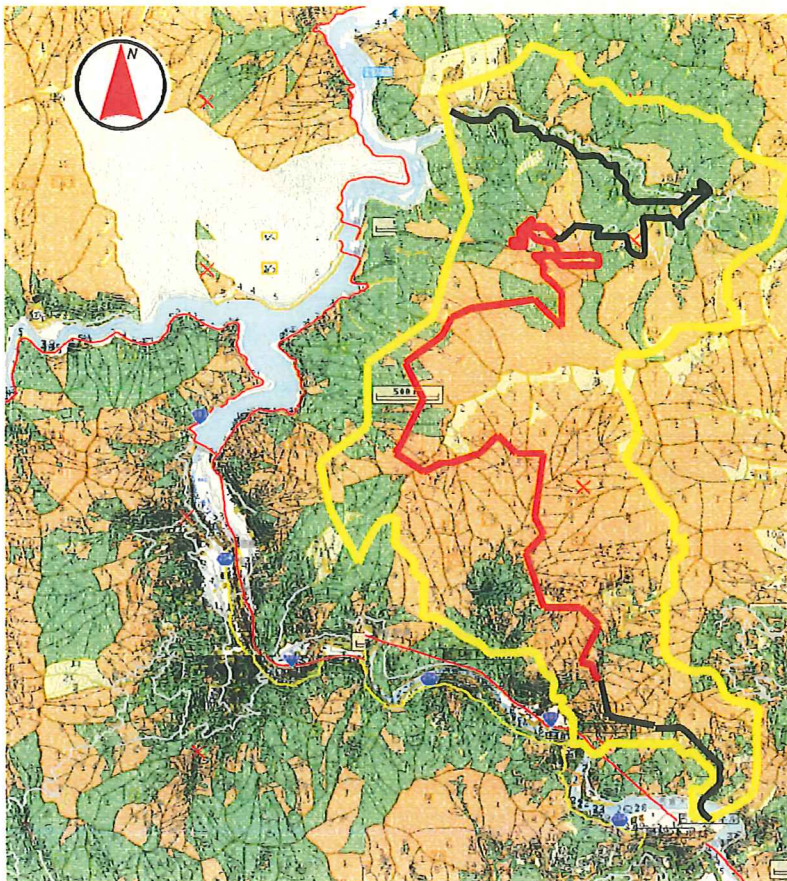


既設 L=3296m

全体計画 L=17,200m

全体計画延長	—	17,200m
実施済延長	—	4,640m
残計画延長	—	12,560m
進捗率(延長)		27%
(事業費)		25%

利用区域内の森林資源



利用区域 1,529ha
(うち民有林 1,529ha)

人工林(32%)
天然林(68%)

民有林

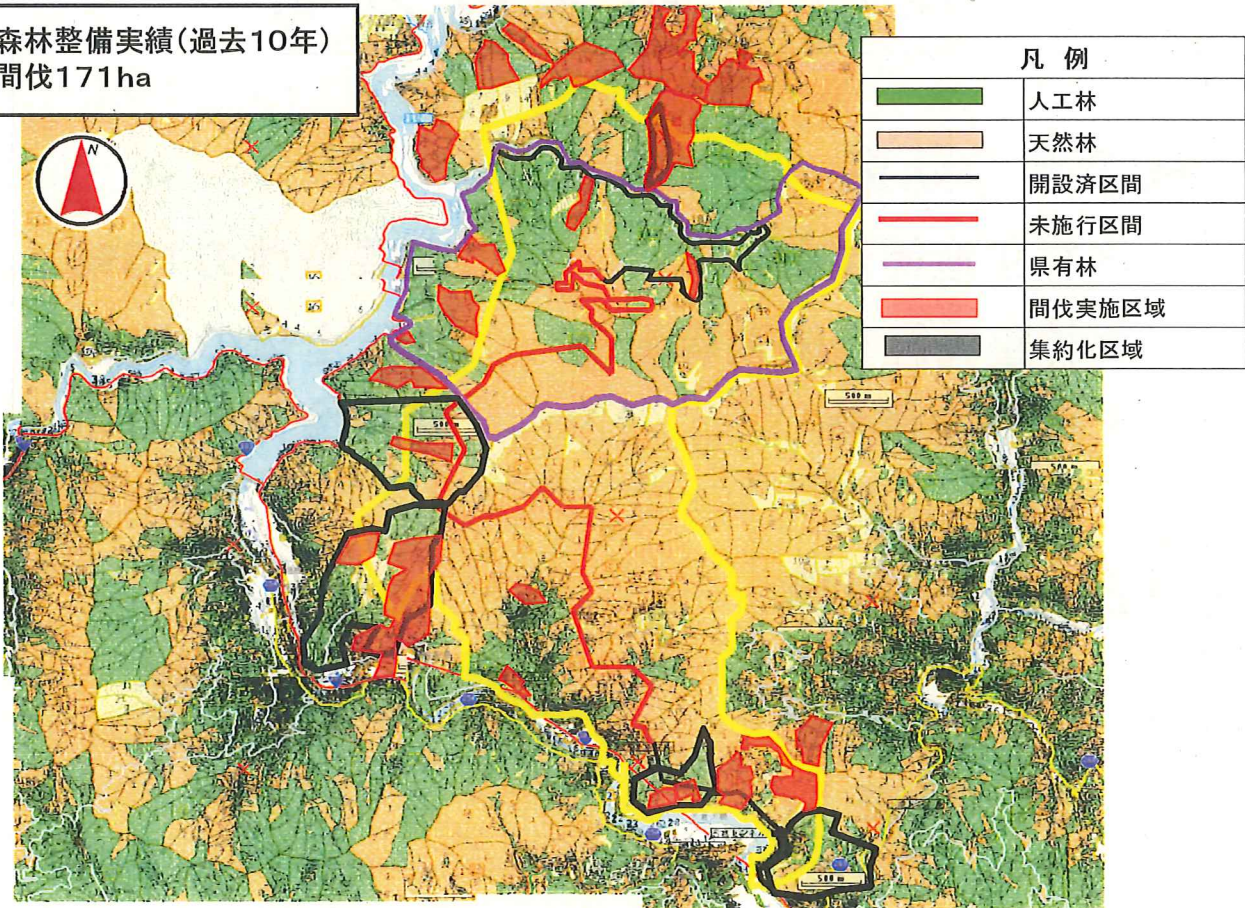
人工林 齢級内訳

- ・61年生 ~ 11%
- ・11~60年生 89%

凡 例
 — 既設林道
 — 未施工区間
 — 利用区域

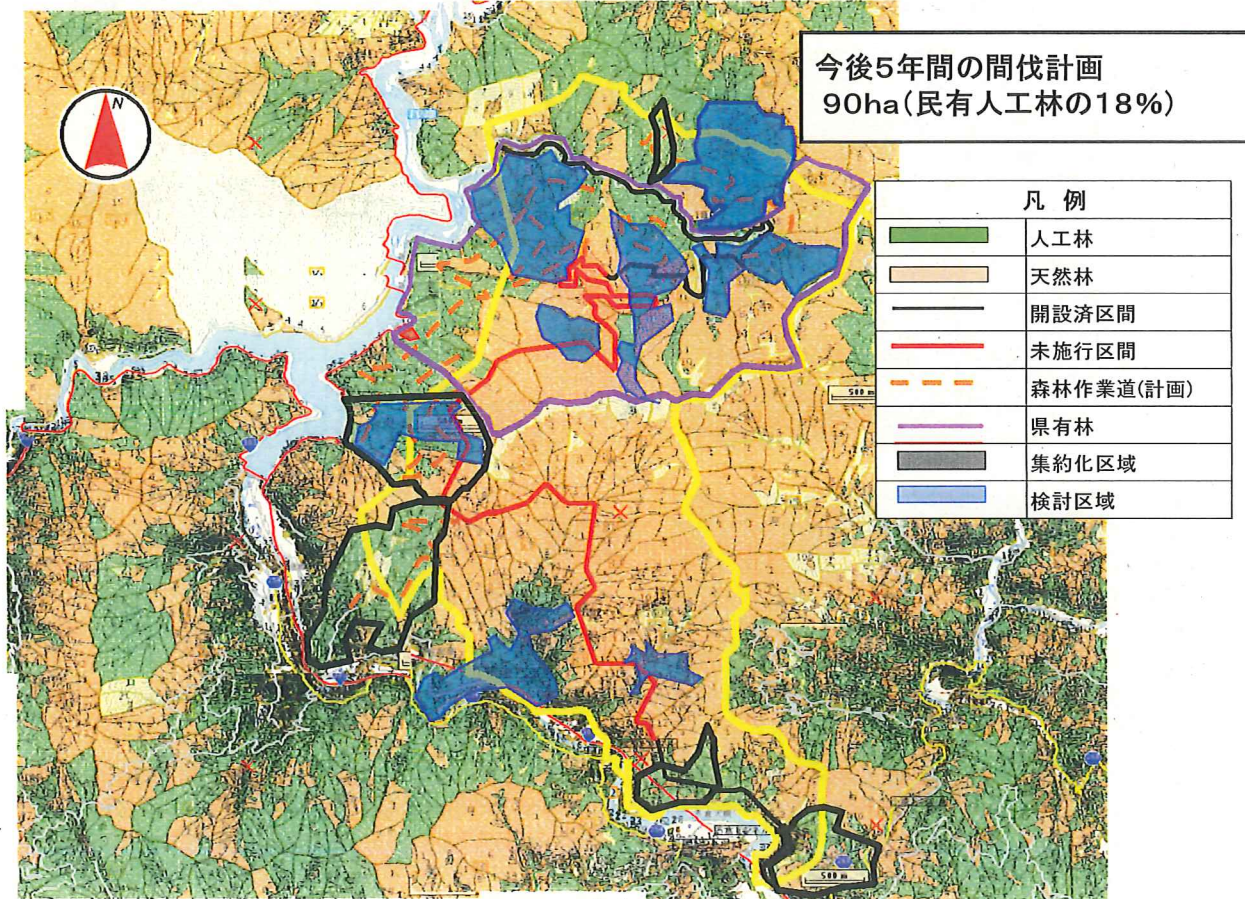
森林整備の実績

森林整備実績(過去10年)
間伐171ha



森林整備の計画

今後5年間の間伐計画
90ha(民有人工林の18%)



費用対効果の分析

■事業の効果

木材生産等便益	効果全体の13%
森林整備経費縮減等便益	効果全体の84%
その他の便益	効果全体の 3%

■投資的效果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.2 \quad \left[\begin{array}{l} \text{前回評価時} \\ \text{(H20年度)} \\ 1.3 \end{array} \right]$$

コスト縮減の取組み・環境への配慮



コスト縮減への取組み

- ・幅員の見直し(5m→4m)
- ・プレキャストL型擁壁の採用

【縮減額 557, 549千円】



環境への配慮

- ・間伐材の有効利用
- ・リサイクル製品の活用

協働による森づくり



権現山への登山道整備



揖北林道を利用して植栽現場へ

広葉樹の植栽



関係者の意向

- 今後の間伐材、主伐材の搬出のため大型トラックが通行できる道がほしい。
- 木質バイオマスエネルギー利用など新たな需要に対応した木材の伐採・搬出のための道が必要。
- 災害時に国道の迂回路となる道がほしい。



早期完成を強く要望

対応方針(案)

- 間伐を主体とした森林整備を促進させる必要がある。
- 木材搬出を推進する必要がある。
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を強く要望している。

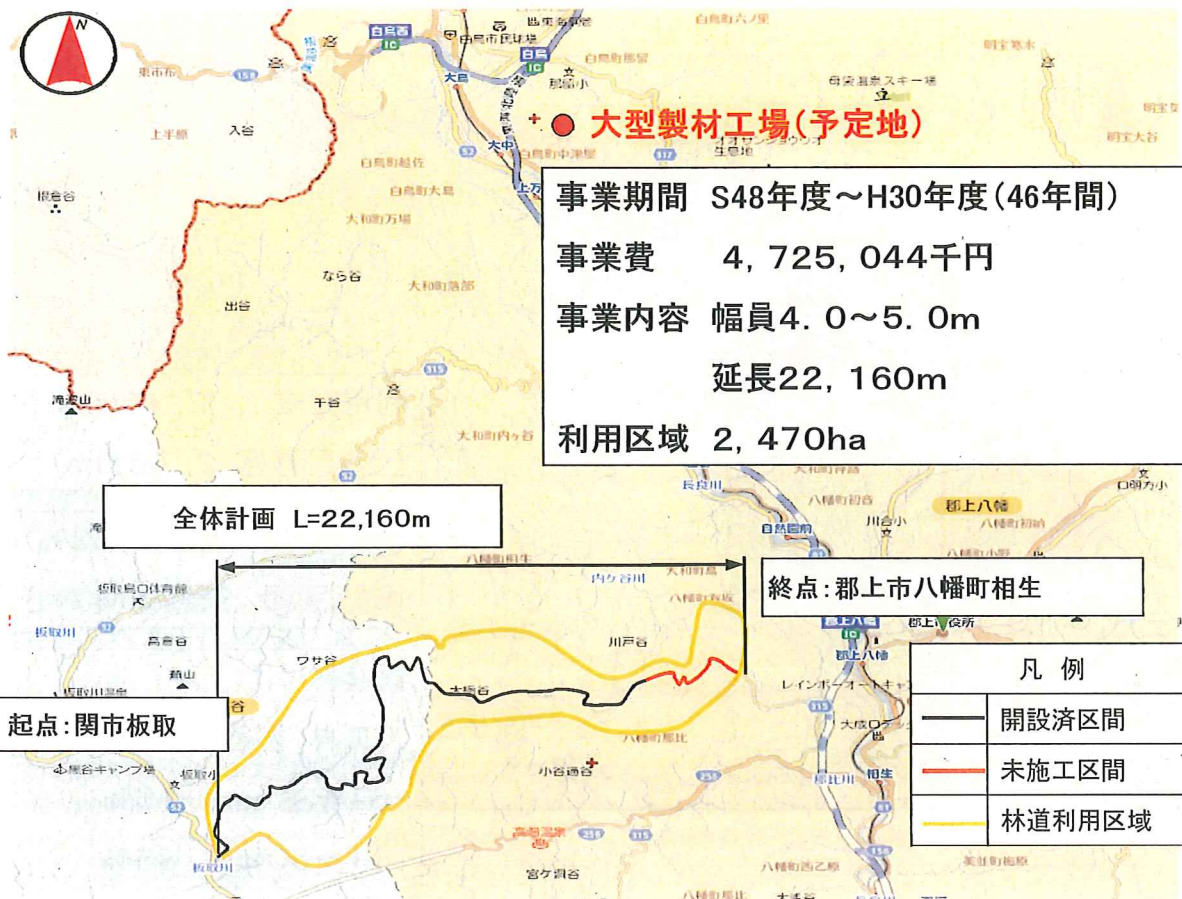


継続して事業を実施することが妥当

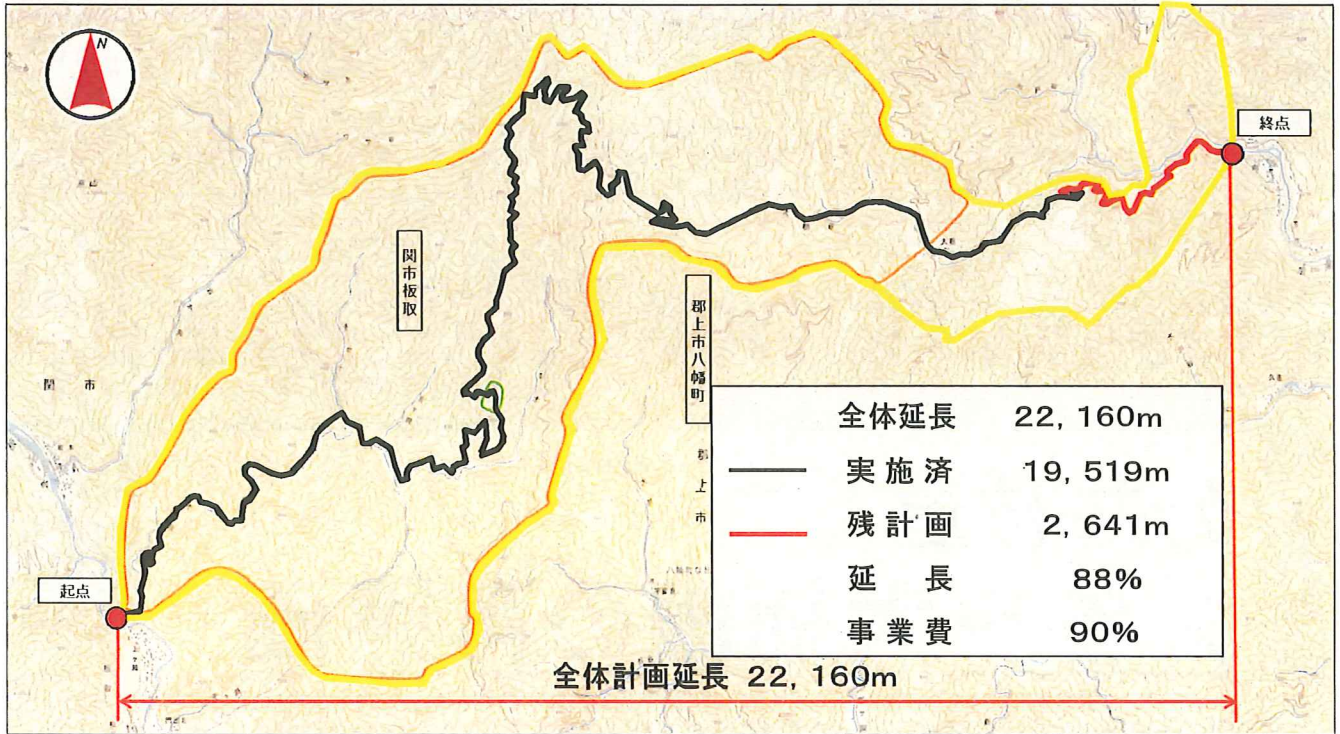
道整備交付金事業

公共林道 大谷～大栃線の再評価

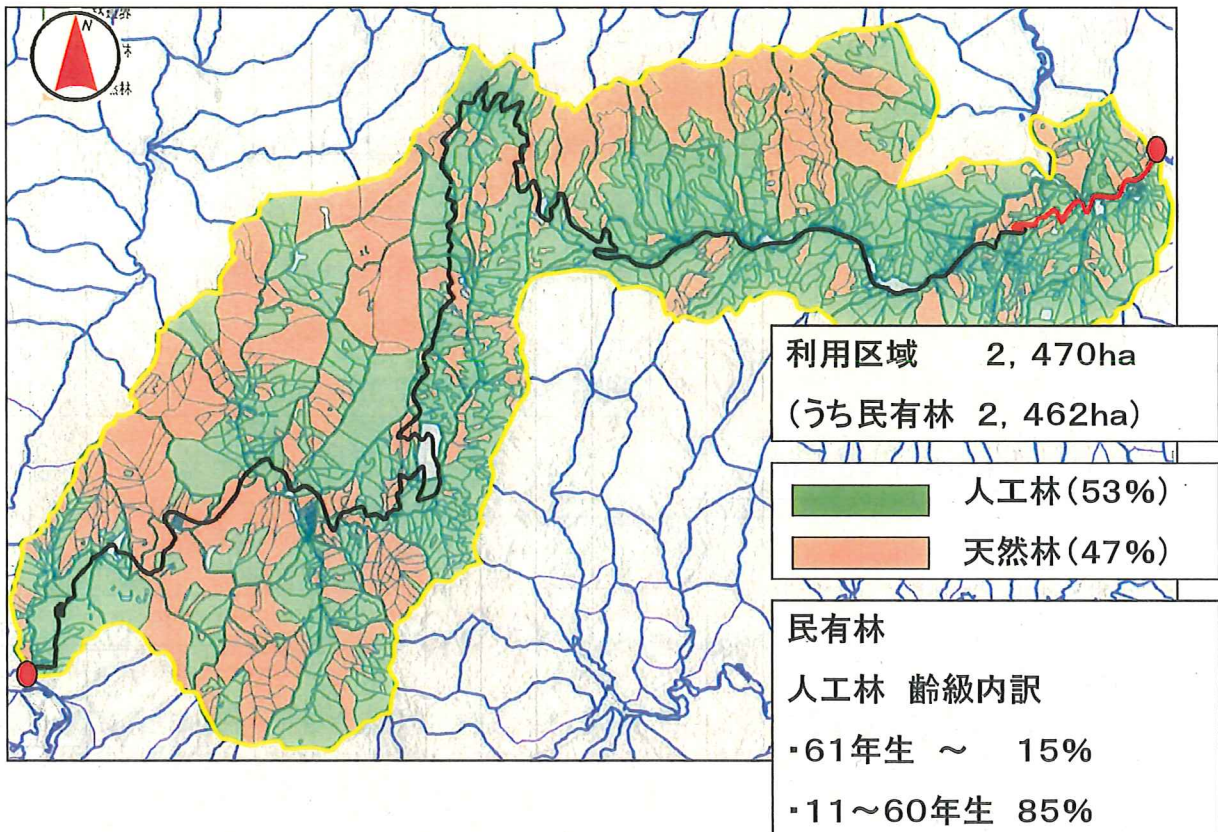
計画概要



事業の進捗状況

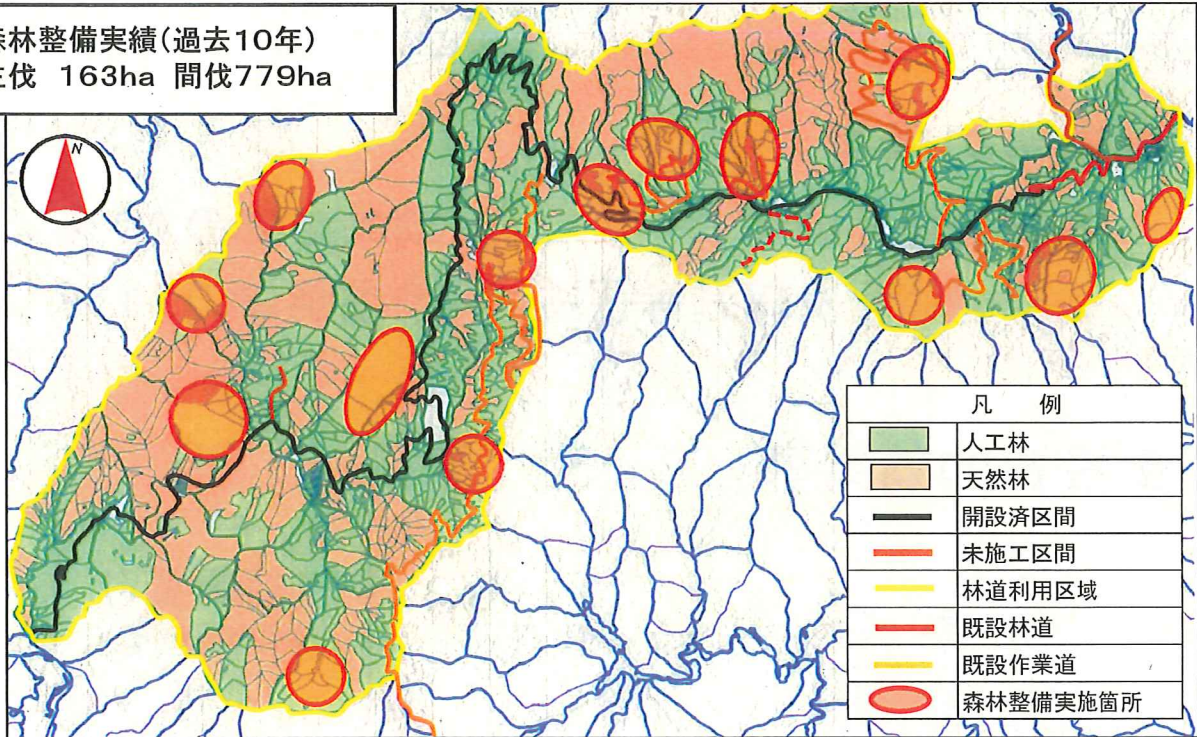


利用区域内の森林資源



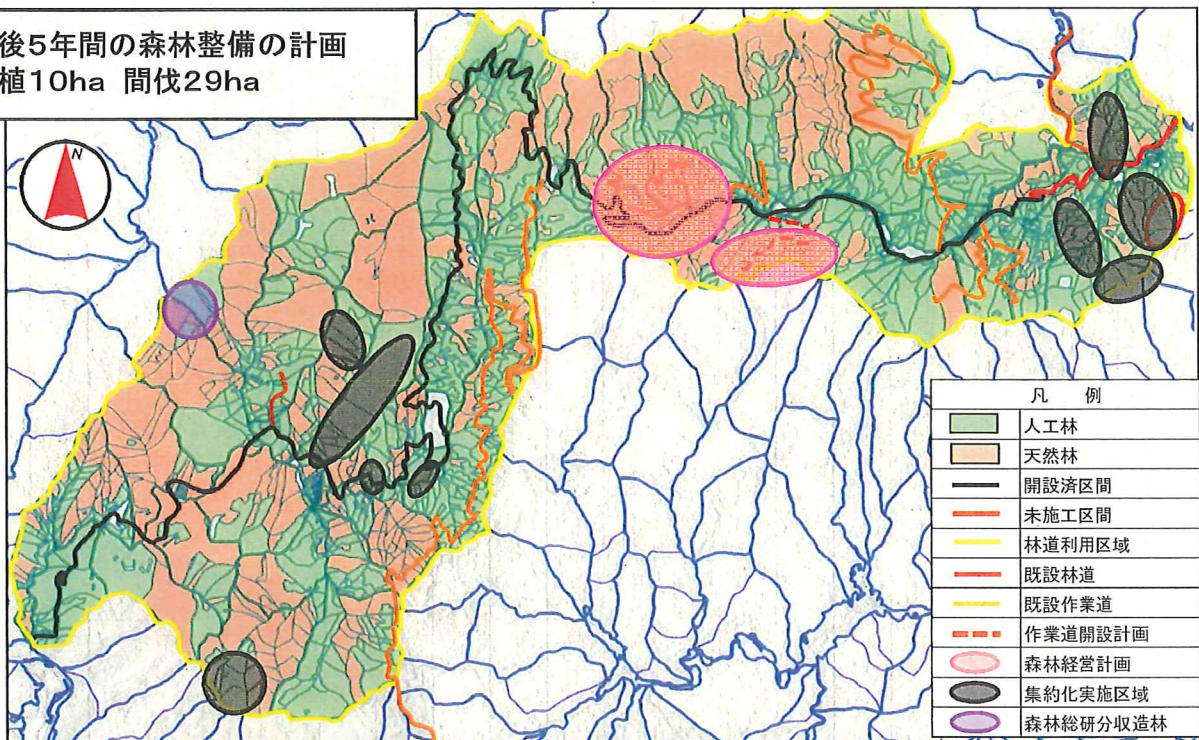
森林整備の実績

森林整備実績(過去10年)
主伐 163ha 間伐779ha



森林整備の計画

今後5年間の森林整備の計画
新植10ha 間伐29ha



費用対効果の分析

■事業の効果

木材生産等便益

効果全体の29%

森林整備経費縮減等便益

効果全体の71%

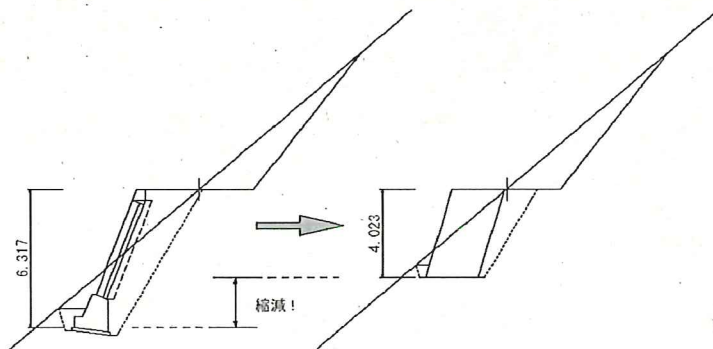
■投資的效果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.5$$

前回評価時
(H20年度)
1.5

コスト縮減の取組み・環境への配慮

- 路側構造物(コンクリート擁壁等)
→L型擁壁・補強土壁の採用



補強土壁工の採用
【縮減額 95,200千円】

- 間伐材の利用した工法の採用
- リサイクル製品の活用



丸太伏工

関係者の意向

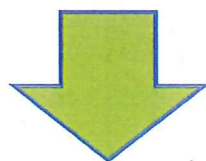
- 森林整備や木材搬出のための基幹路網が欲しい。
- 市境をまたいで山林を所有しており、直接現地へ足を運ぶことができる道が欲しい。
- 大型製材工場の進出による木材の需要増大が期待される。



早期完成を強く希望

対応方針(案)

- 森林所有者、関市、郡上市ともに早期の開通を強く望んでいる。
- 大型製材工場の進出による木材の需要増大への貢献。



継続して事業を実施することが妥当

道整備交付金事業

公共林道

中美濃線の再評価



計画概要

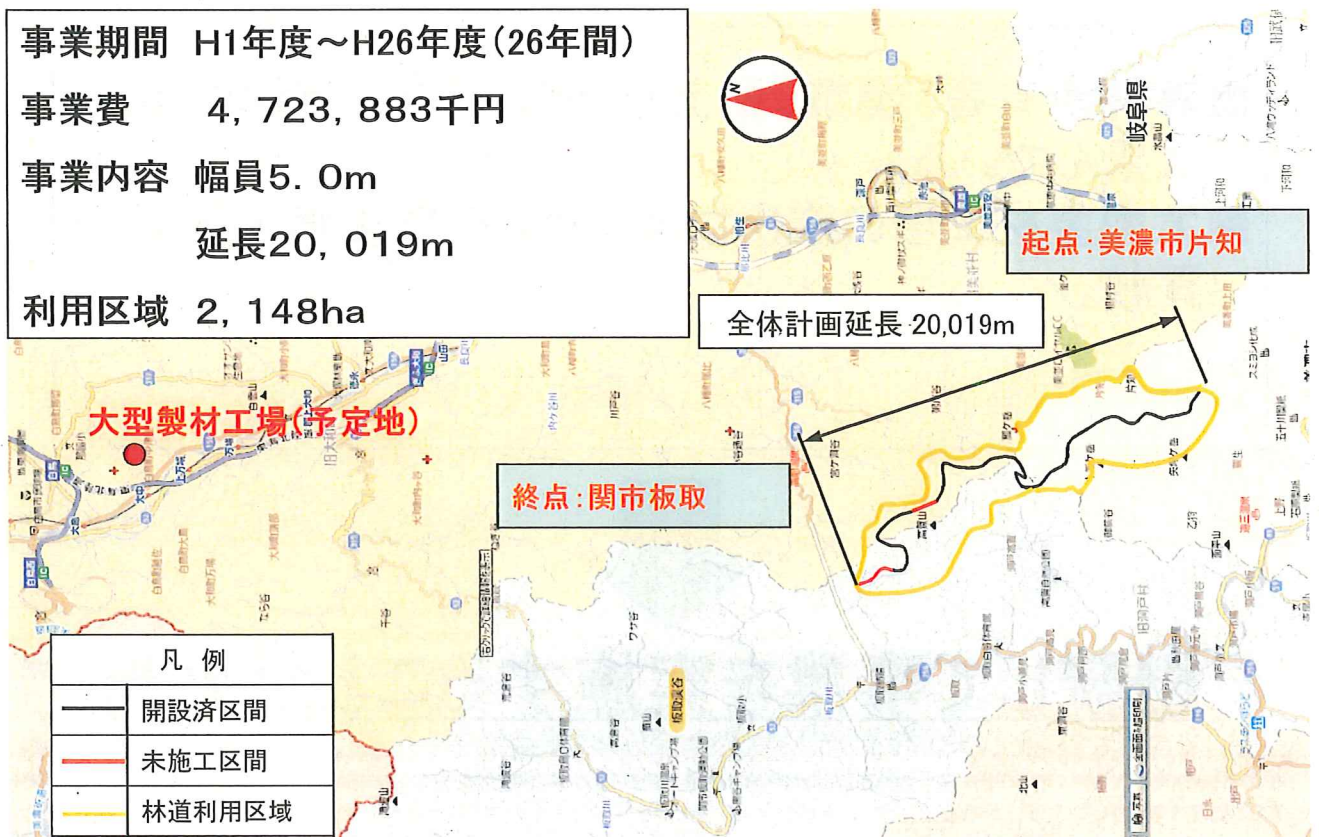
事業期間 H1年度～H26年度(26年間)

事業費 4,723,883千円

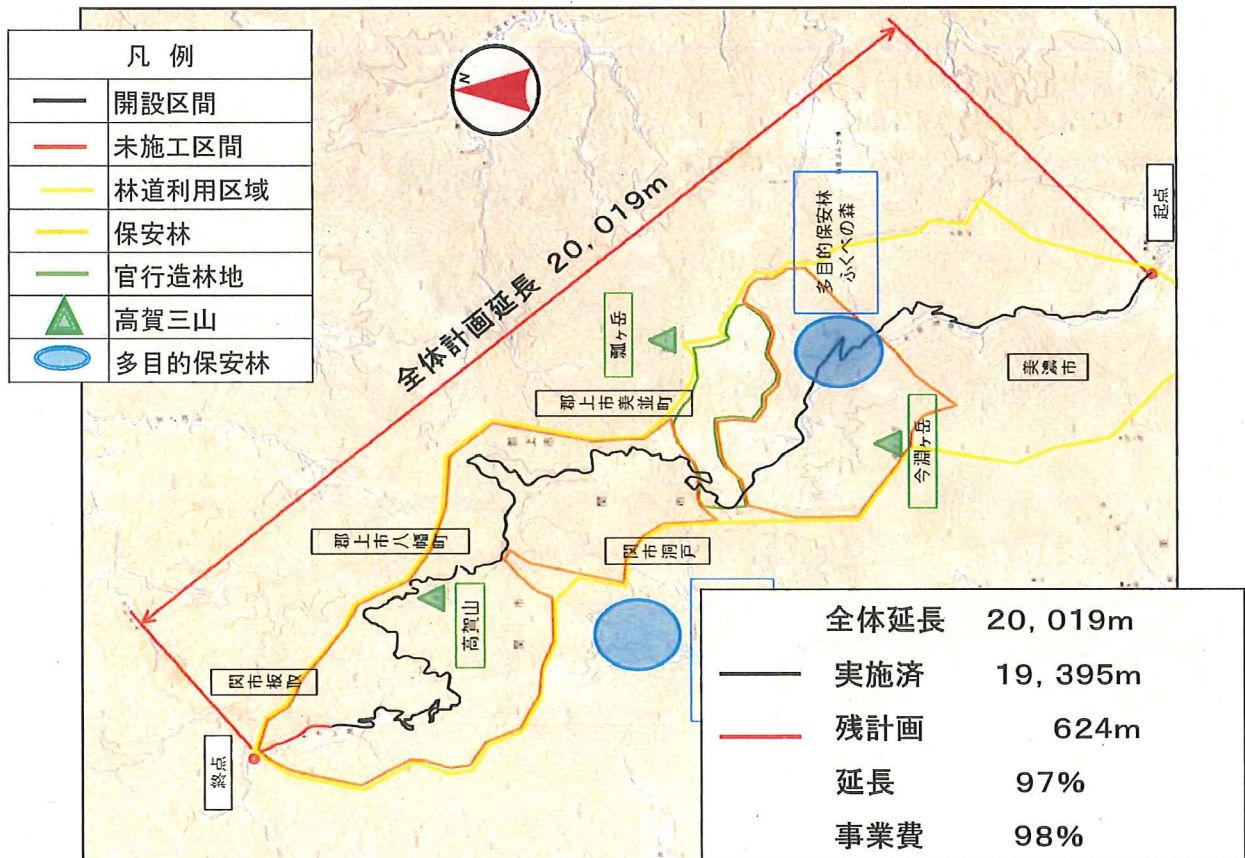
事業内容 幅員5.0m

延長20,019m

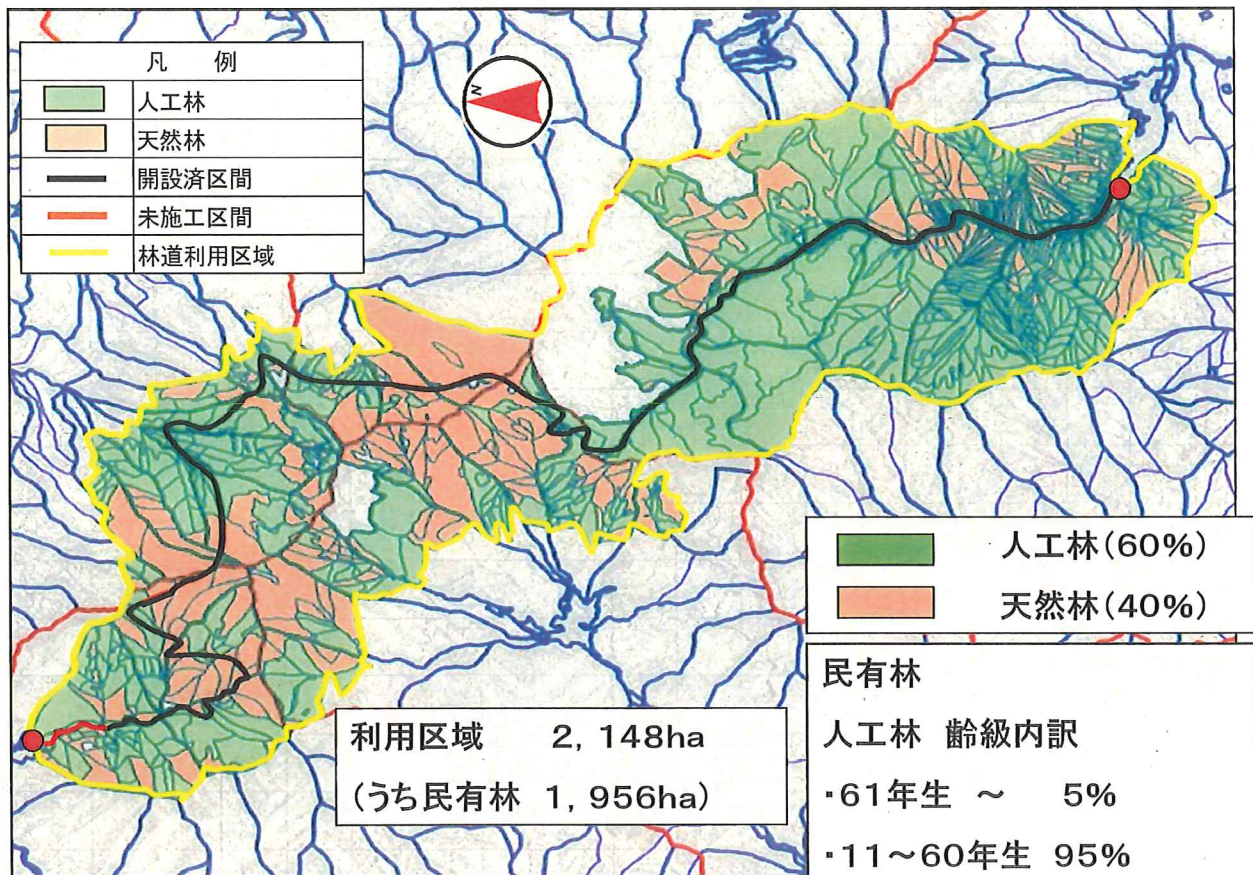
利用区域 2,148ha



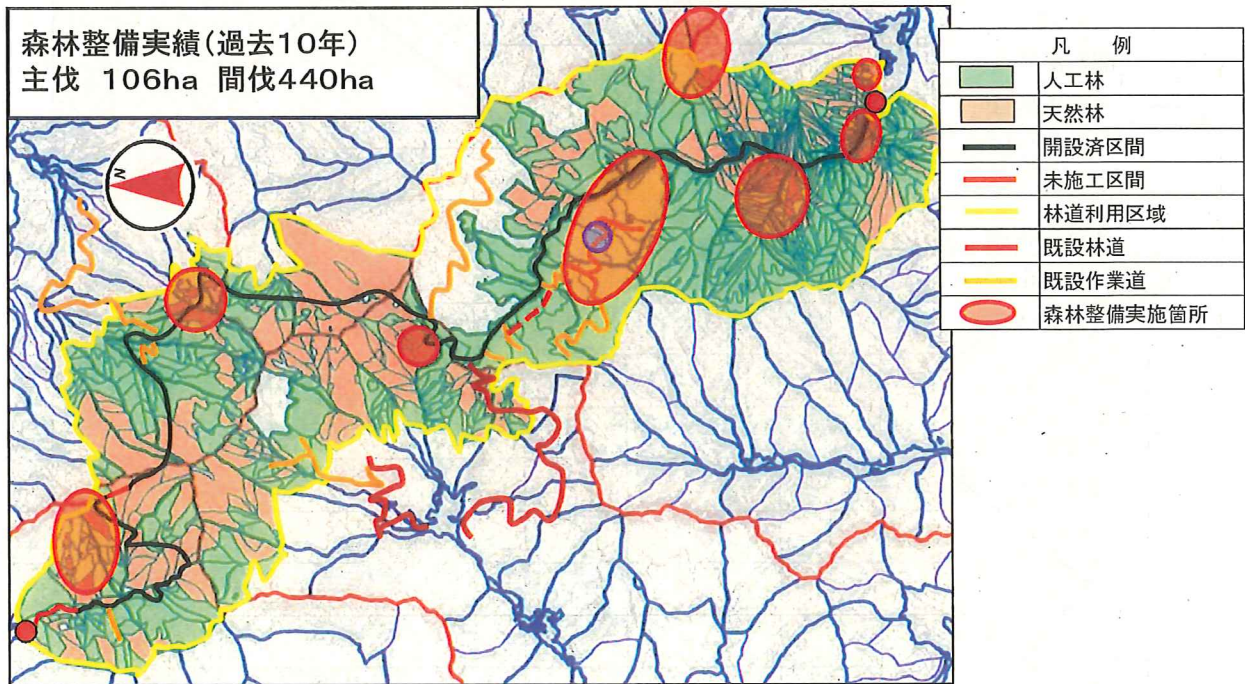
事業の進捗状況



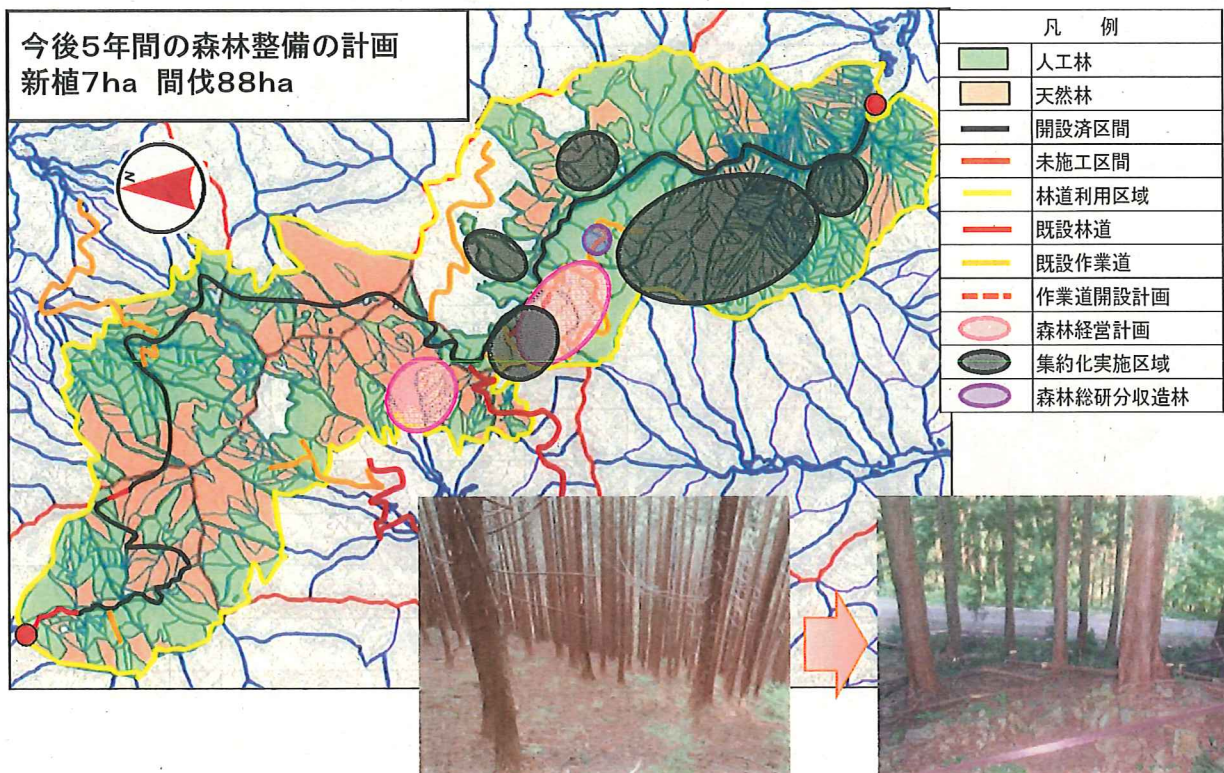
利用区域内の森林資源



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

■事業の効果

木材生産便益	効果全体の19%
森林整備経費縮減等便益	効果全体の79%
その他の便益	効果全体の 2%

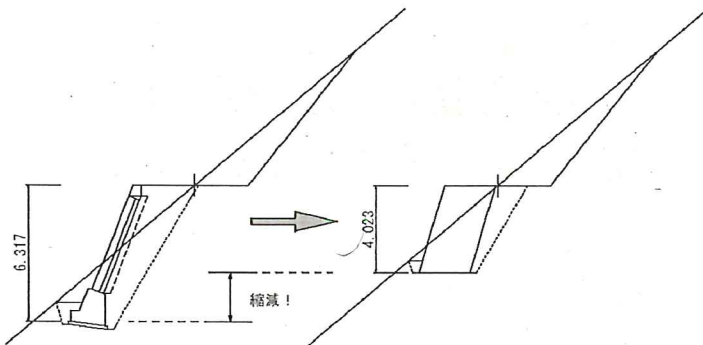
■投資的效果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.4 \quad \left[\begin{array}{c} \text{前回評価時} \\ \text{(H20年度)} \\ 1.5 \end{array} \right]$$

コスト縮減の取組み・環境への配慮

■路側構造物(コンクリート擁壁等)

→L型擁壁・補強土壁の採用



補強土壁工の採用
【縮減額 78,800千円】

■間伐材の利用した工法の採用

■リサイクル製品の活用



丸太伏工

関係者の意向

- 森林整備や木材搬出のための基幹路網が欲しい。
- 緊急時の迂回路としても必要である。
ex: 美濃市片知地区、関市洞戸高賀地区
- 沿線の観光資源を活かすアクセス道が欲しい。



早期完成を強く希望

対応方針(案)

- 森林整備や木材の搬出に利用される基幹道として森林所有者、関市、美濃市、郡上市ともに、間近に迫った開通を強く望んでいる。
- 高賀三山や多目的保安林を背景とした「癒しの空間」として、今後も多くの利用者が見込まれる。



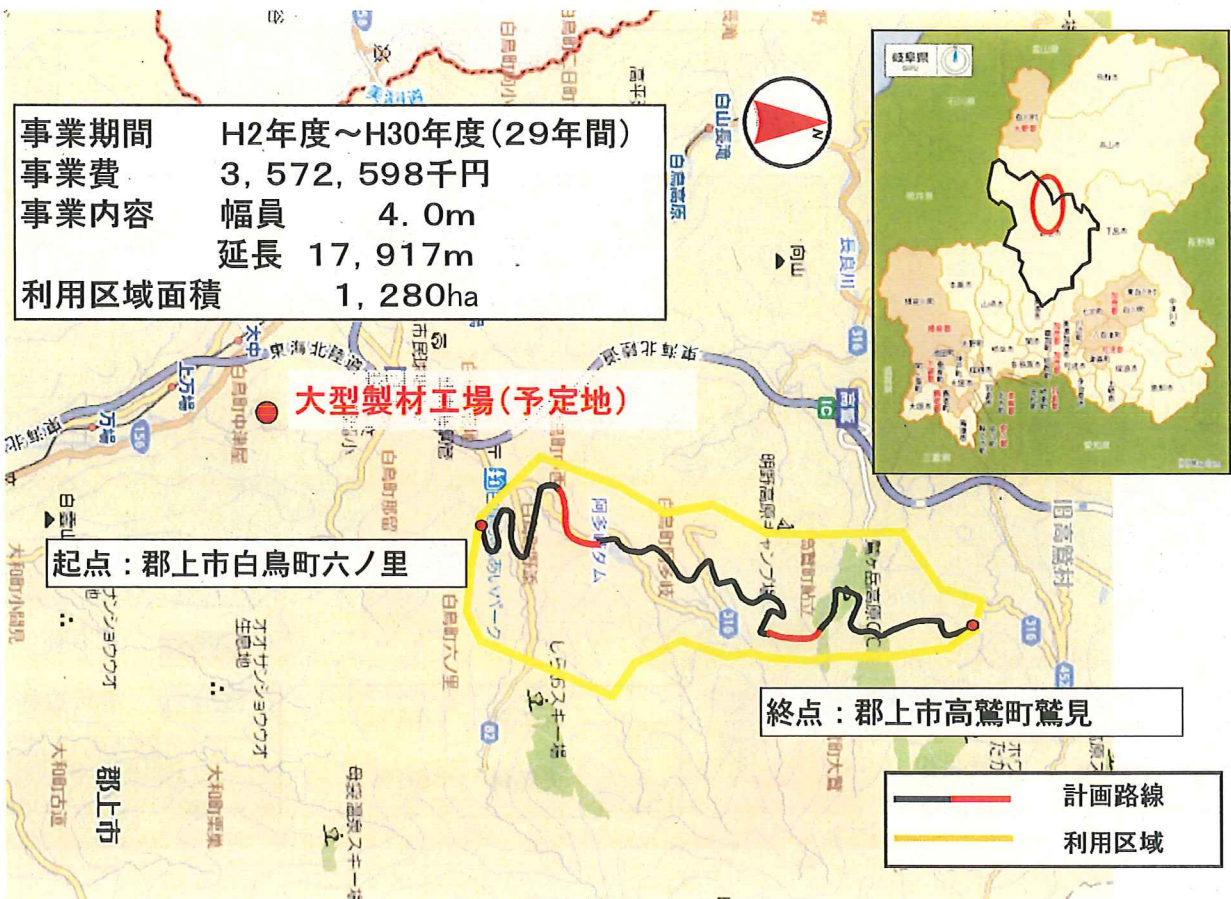
継続して事業を実施することが妥当

道整備交付金事業

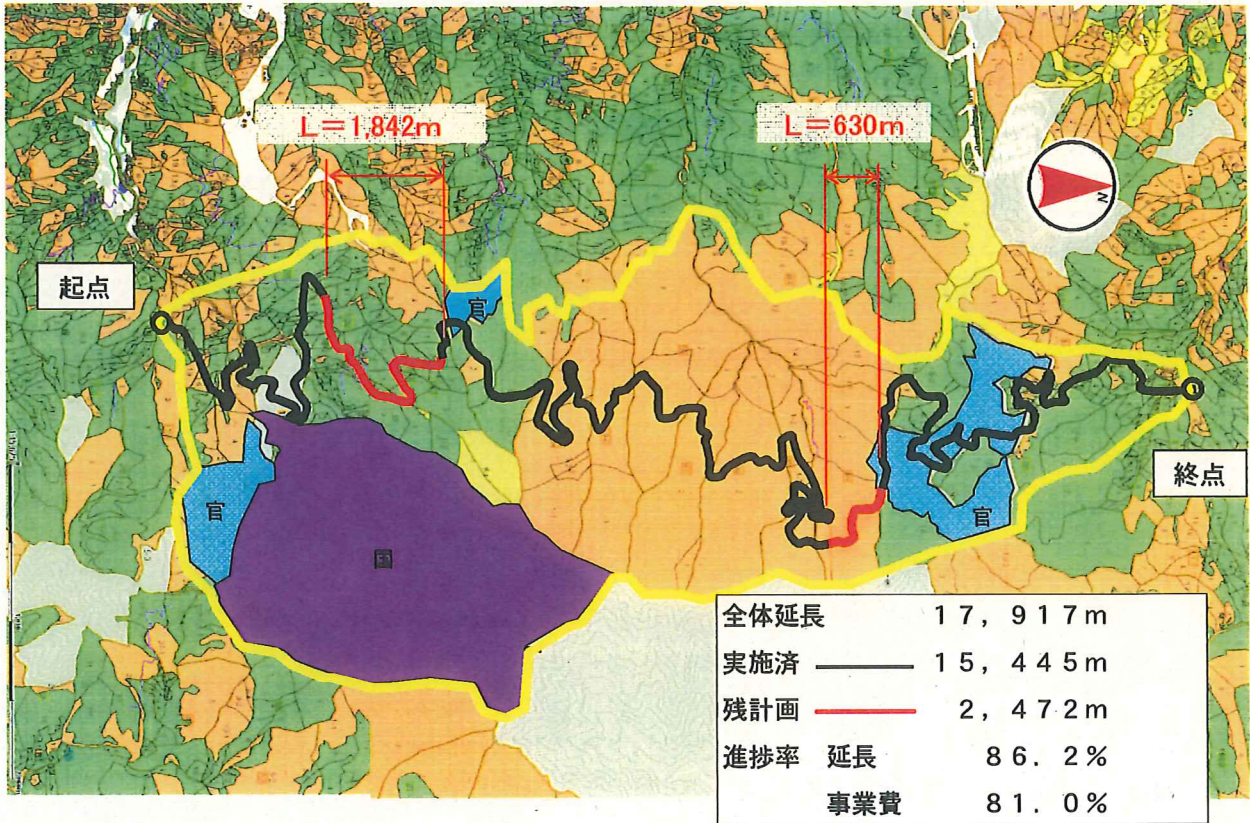
公共林道 白尾～鷺見線の再評価



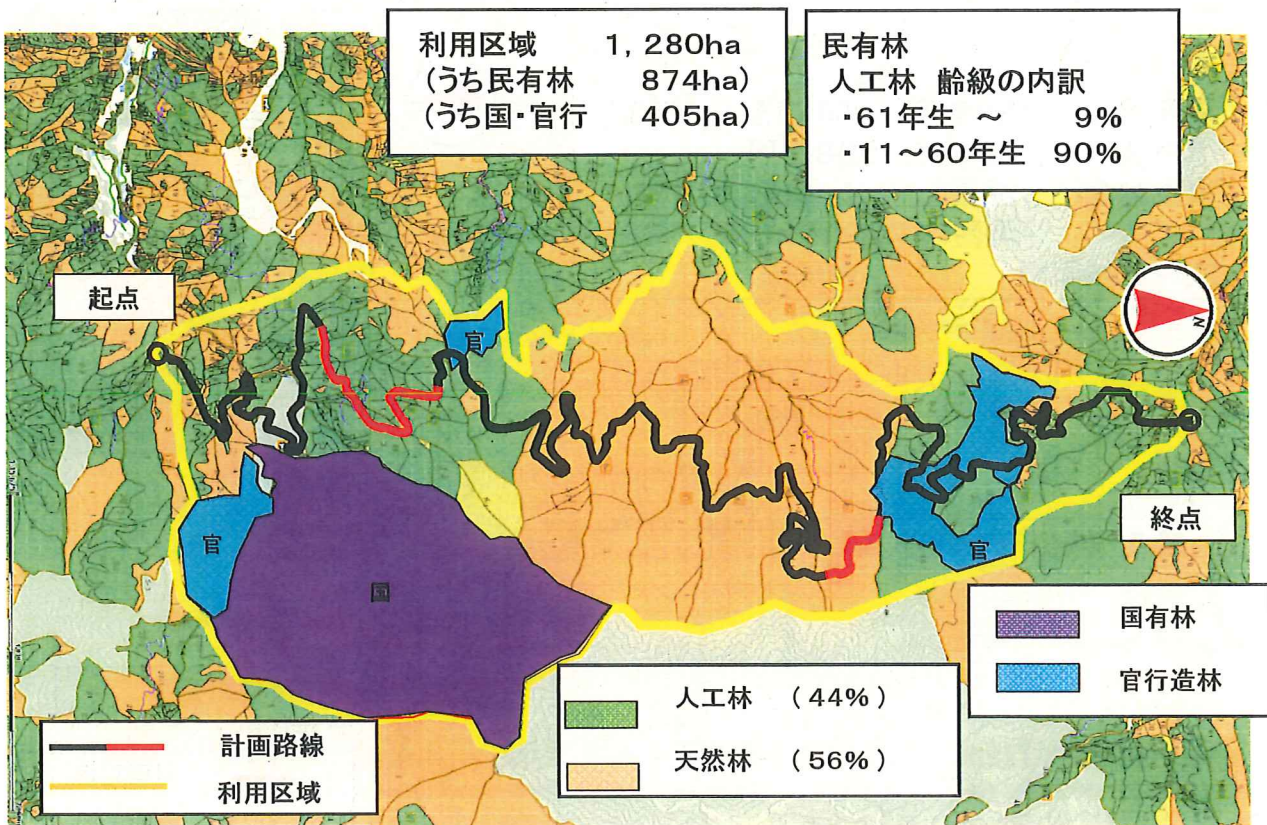
計画概要



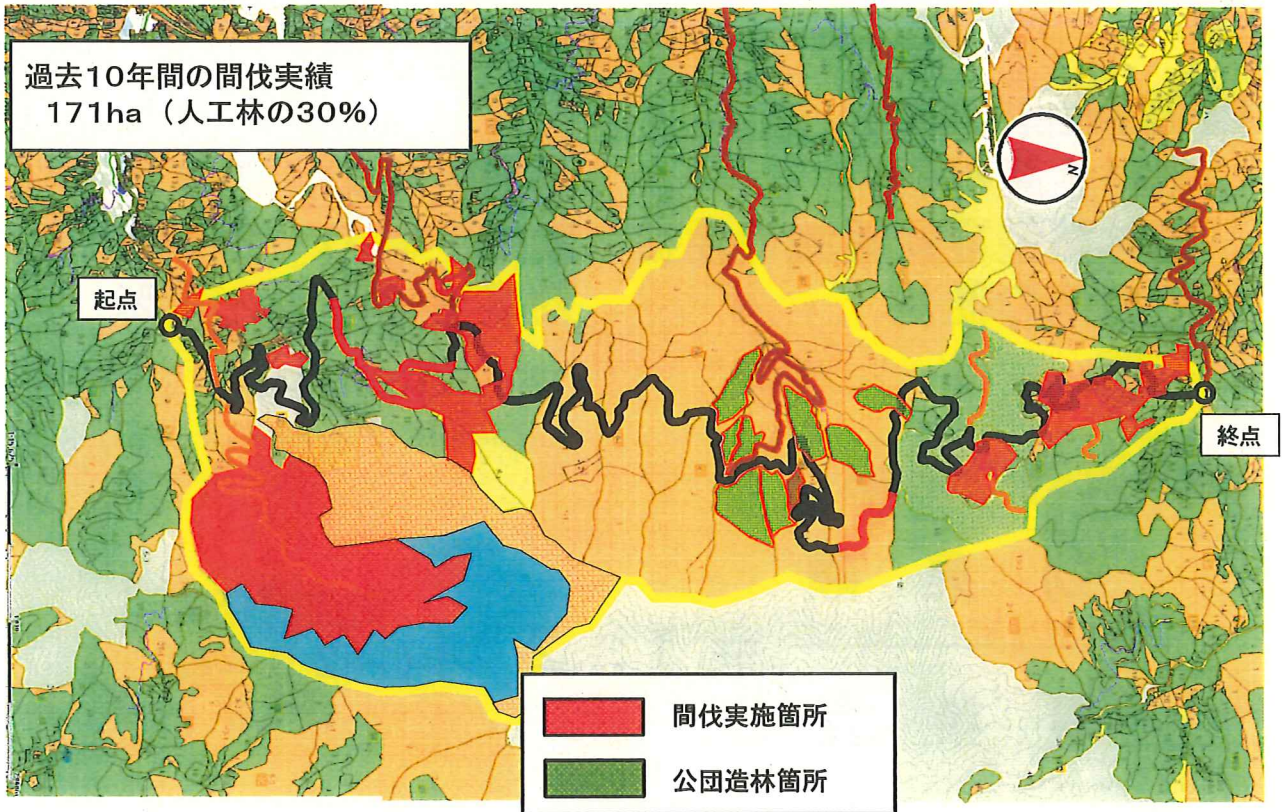
事業の進捗状況



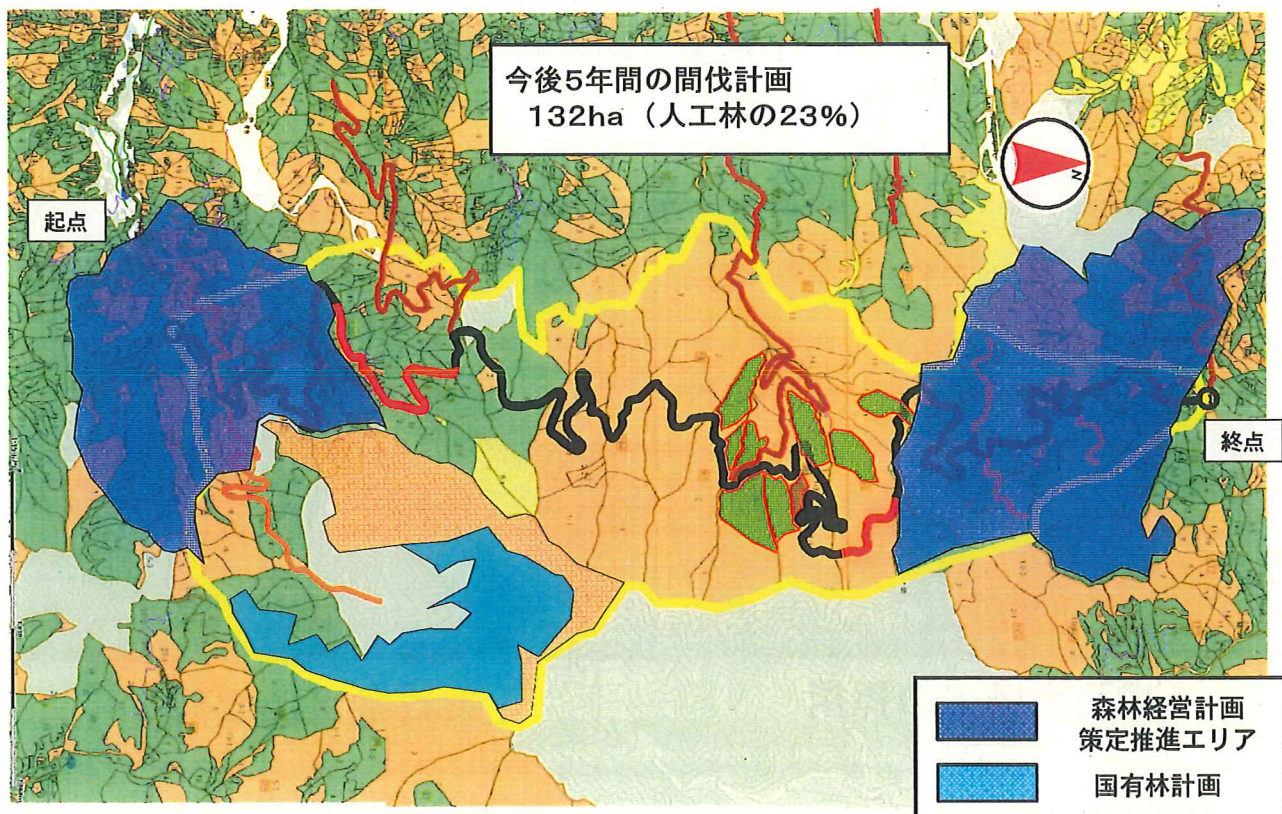
利用区域内の森林資源



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

■効果額の内訳

木材生産等便益	効果全体の	13%
森林整備経費縮減等便益	効果全体の	85%
その他の便益	効果全体の	2%

■投資的効果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.2 \left[\begin{array}{l} \text{前回評価時} \\ \text{(H20年度)} \\ 1.3 \end{array} \right]$$

コスト縮減の取組み

■路側構造物(コンクリート擁壁・ブロック積)

→L型擁壁・補強土壁の採用



補強土壁工の採用



L型擁壁工の採用

【縮減額 67,600千円】

環境への配慮

- ・間伐材を利用した工法の採用
- ・リサイクル認定製品の活用



木伏工

L型擁壁

木柵工

関係者の意向

- 既設の林道に接続し、連絡線形として欲しい。
- 木材搬出のため大型トラックが進入可能な林道が必要。
- 鷲ヶ岳等への県内外からの利用者の増加が期待される。



早期完成を強く希望

対応方針(案)

- 間伐を始めとした地域の森林整備と間伐材等の木材の搬出利用を進める。
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を強く要望している。



継続して事業を実施することが妥当

道整備交付金事業

公共林道 二間手～水沢上線の再評価



計画概要



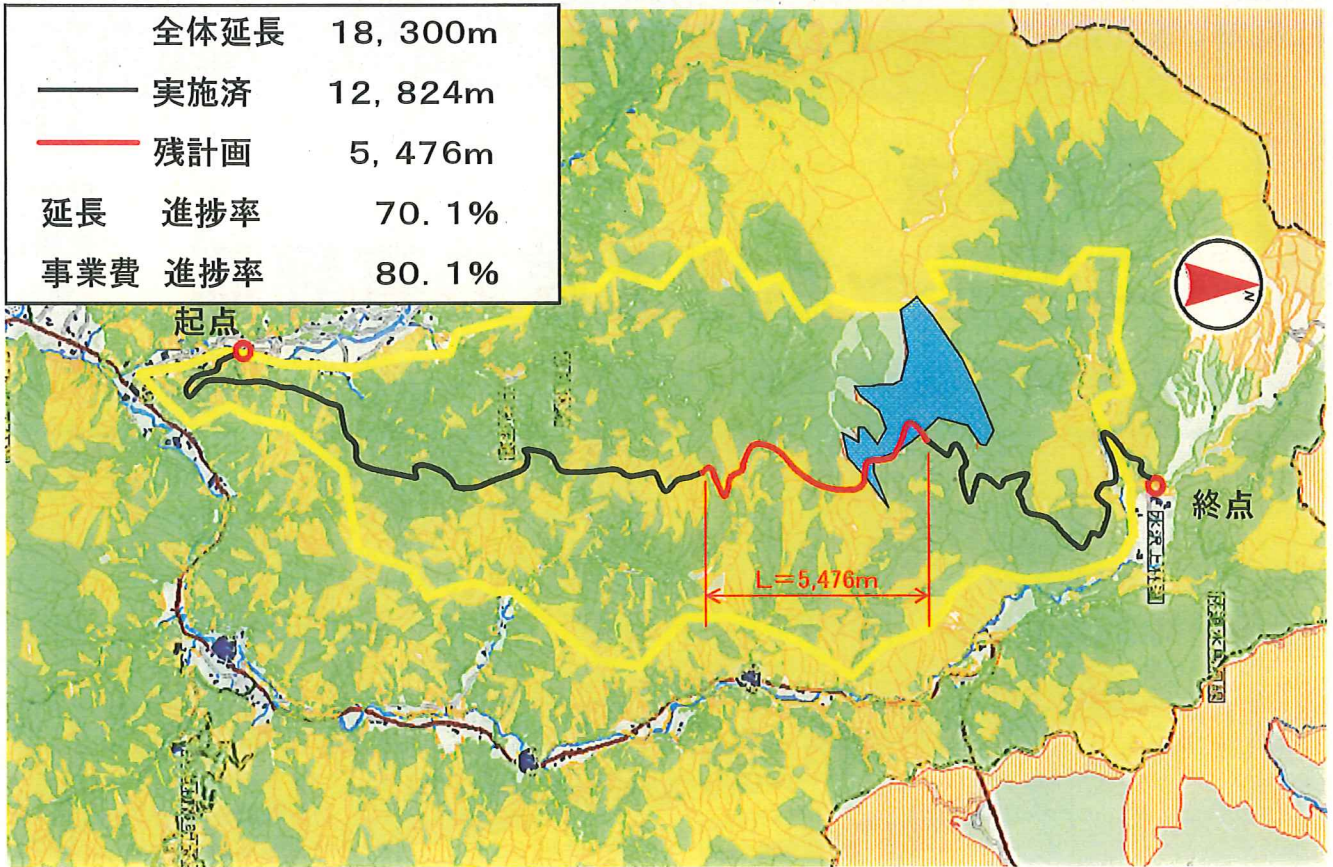
事業期間	平成4年度～平成30年度(27年間)
事業費	4,041,408千円
事業内容	幅員 4.0～5.0m 延長 18,300m
利用区域面積	2,270ha

起点郡上市明宝気良

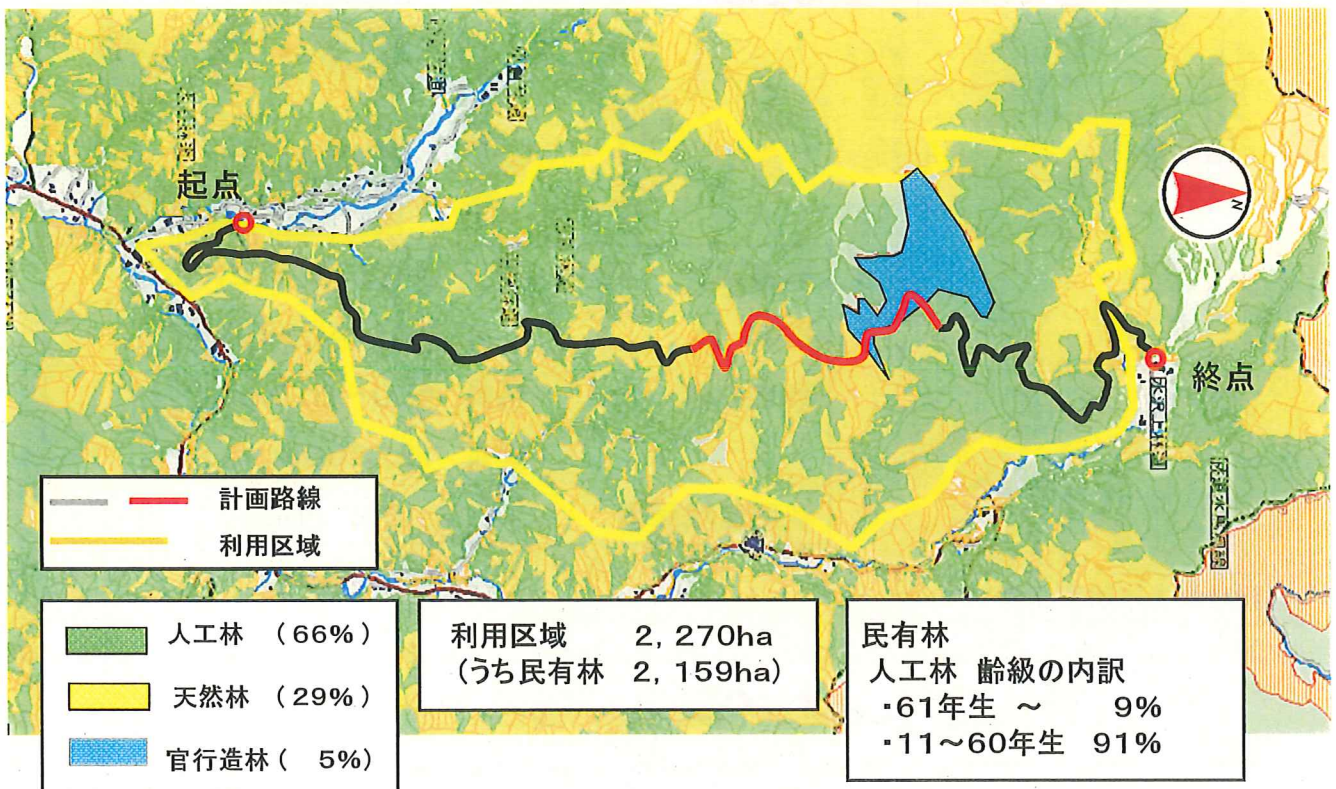
終点郡上市明宝奥住

— 計画路線
— 利用区域

事業の進捗状況

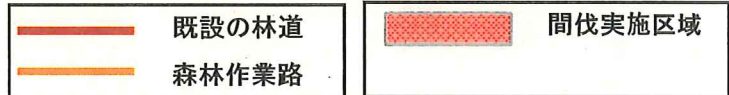
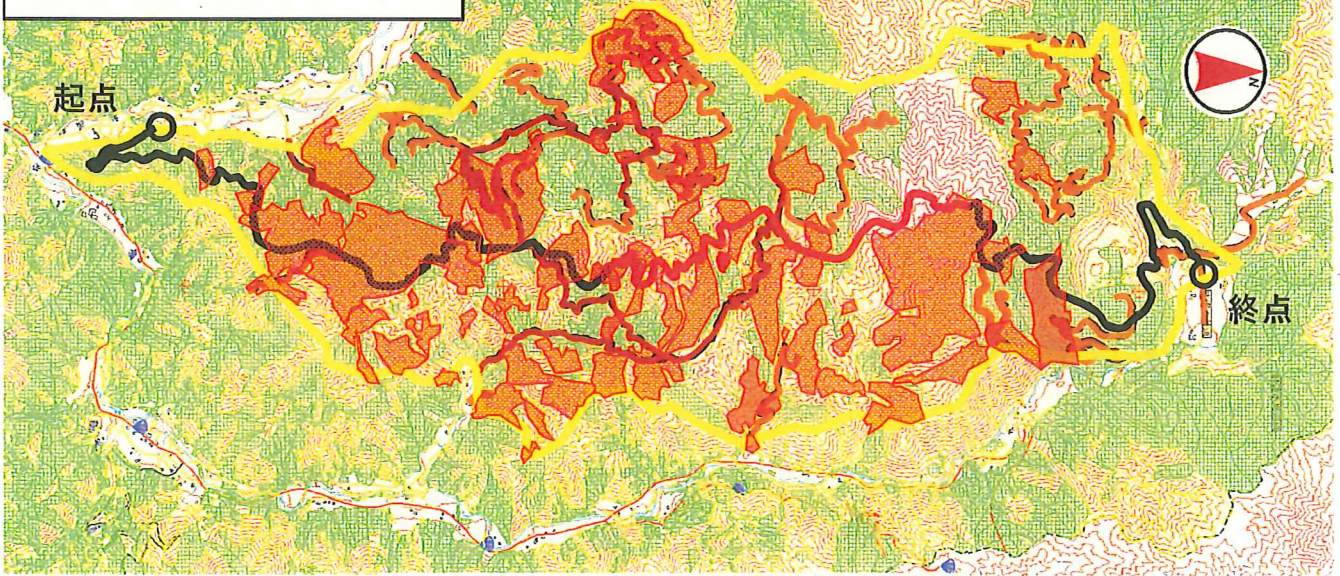


利用区域内の森林資源



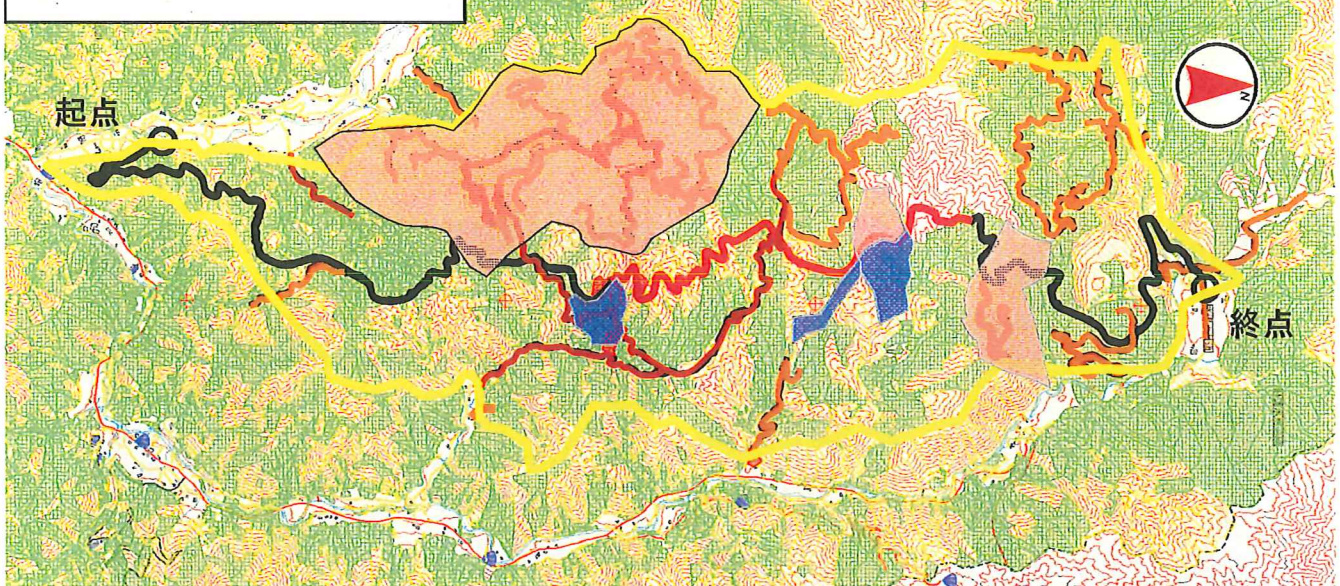
森林整備の実績

過去10年間の間伐実績
684 ha(民有人工林の47%)



森林整備の計画

今後5年間の間伐計画
129ha(民有人工林の 6%)



費用対効果の分析

■効果額の内訳

木材生産等便益
森林整備経費縮減等便益

効果全体の 23%
効果全体の 77%

■投資的効果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.4$$

(前回評価時
(H20年度)
1.5)

コスト縮減の取組み

■路側構造物(コンクリート擁壁等)

→L型擁壁・補強土壁の採用



補強土壁工の採用



L型擁壁の採用

【縮減額 43,300千円】

環境への配慮



関係者の意向

- 適切な森林整備の促進や森林施業の低コスト化を図るには林道が必要。
- 森林整備の遅れている中腹以上の森林へのアクセスの改善に有効。
- 木材市場へのアクセス向上に重要。
- 大型製材工場の進出による木材の需要の増大が期待される。



早期完成を強く希望

対応方針(案)

- 間伐を始めとした地域の森林整備と間伐材等の木材の搬出利用を進める。
- 森林所有者・郡上市とも事業継続・早期完成を強く要望している。



継続して事業を実施することが妥当